

# 松井周の標本室2020-2022/ ダイアログとアートが発酵したら

## 東京芸術文化創造発信助成【長期助成】活動報告会 第17回



Photo: Noriyuki Sato



Photo: Noriyuki Sato

劇作家・演出家の松井周が「演劇」を通して世の中に思いを巡らすためのスタディ・グループ＝「松井周の標本室」は、会員の年齢・性別・所在地を不問とし、経済効率や生産性に重きを置かないコミュニティです。2020年に始まり、40名程度のメンバーが半分ずつ入れ替わりながら活動しました。オンラインコミュニケーションツール（Slackなど）を軸に、ワークショップや合宿、演劇鑑賞やアウトプットの間を設け、結果的には新しい生活様式とマッチしたオンライン・オフラインのハイブリッドな活動形式をとりました。

人それぞれのダイアログを、アートという菌で発酵させ、アウトプットする場をもうけたのが標本室です。コロナ禍によって様変わりした生活環境を背景に、人間という標本がどのような進化を遂げるのか、見届けた3年間となりました。同時に、生活から少し離れた「自己」を設定できる第三のコミュニティの存在と、経済的成果や評価を強くないアウトプットが、どのような効果をもたらすのかも見えてきました。

報告会では、メンバーによるリサーチ&インスタレーション、フィールドワークの様子を記録したドキュメンタリーの上映の他、カードゲームを使って価値観を着脱するワークショップ「標本会議」を実施し、「松井周の標本室」の独創的な運営やプロジェクトの今後の展開についてお話をうかがいます。

### ◆ 登壇団体 ◆

## 有限会社quinada

登壇者： 松井周

(劇作家・演出家・俳優・劇団サンプル主宰)

三好佐智子

(有限会社quinada代表取締役)

綿貫美紀

(株式会社アプレシア代表)

プロジェクトの概要：「松井周の標本室」

【1年目】 標本室を立ち上げ、回遊型インスタレーション「セルフサービス」とサンプル・ワークショップを開催

【2年目】 標本室の運営、自給自足コミュニティへのフィールドワーク、リサーチ&インスタレーション公演を実施

【3年目】 標本会議の開発、アーカイブドキュメンタリーの上映会、標本空間「標本の湯」を発表

### 東京芸術文化創造発信助成【長期助成】

アーツカウンシル東京では発表活動だけでなく、リサーチや試演など作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的として、長期的な活動に対して最長3年間助成する「東京芸術文化創造発信助成【長期助成】」を平成25（2013）年度より実施しています。



日時：2023年12月15日（金）19:00～21:00（開場18:45）

場所：アーツカウンシル東京 5階会議室 東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階

料金：無料 定員：40名（事前予約制／先着順）

手話通訳・UDトークによる情報保障あり

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

問合せ：「長期助成活動報告会」運営担当（合同会社syuzgen）

E-mail：act\_tj@syuzgen.com FAX：03-4333-0878

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・動画・音声の収録を行い、後日アーツカウンシル東京のウェブサイト等でレポート記事として公開します。予めご了承ください。

※お寄せいただいた個人情報は厳重に保管し、本報告会に関わるご案内のみに使用いたします。

※内容が変更になる場合があります。予めご了承ください。

### 申込方法

こちらのフォームもしくはQRコードより必要情報を記入の上、お申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S425561732/>

※報告会内で実施されるワークショップへの参加希望の有無もお伝えください。抽選で10名程度の予定です。

申込締切：2023年12月11日（月）14:00

